

やまだ文芸広場

ナインは、英語で、9月だね。
山田高校ナイン球児：
一球一球投げるボールに
走る未来の球児の
良い輝きキラリ光る汗。

佐藤 啓子（船越・37）

・待つだけの人生ならば 待ち惚け
食わされつつも 待つだけ待たむ
・世を救う 三世の仏の心にも
にたるは親の心なりけり

内館 洋一（飯岡・72）

・その昔に君を思い涙せし
少女の頃に戻りし気する
・姪の子を 弟と呼びし妹の
呆けし姿に涙流れぬ
P・N 沢まさ子（山田・？）

・仏様 去りて元の静けさに
佐藤 兼男（荒川・88）

みんなの スペース

◆あて先・問い合わせ

〒028-1392（住所不要）山
田町役場総務課情報係 ☎82
-3111内線417) へどうぞ。



山田の祭りに想いを

結婚してから太鼓を叩く人がいないと、幼子を背に出掛けて行った事もあります。

ことしのふる里山田同郷の会では、虎舞の太鼓の響きがとても感動的で心に残りました。この年齢になっても郷土芸能の音を耳にすると、心が熱くなりま

【大浦出身】

荒井 美由紀（東京都・74）

長月（九月）

希望に生きる者は常に若い、と言う標語がありますが、これが似合うのが「長月」、今月ではないでしょうか。

昨今、夏至は過ぎ、野山もすっかり新緑に包まれ、一年で一番昼が長く、これから一日と夜長に向かってくこと、二十四節気の長月と言うようになったのではないのでしょうか。そして日の長い時期の内に、一生懸命農作業に、漁に、養殖に励み、やがて来る秋の実りを

楽しみに、働く喜びを噛みしめ暑さにも負けずにがんばる時期ではないでしょうか。思い起こしてみれば、自分たちが若い頃（約60年）昔の話になります

町長室から

お盆がやってきた。毎年の光景で山田の風物詩となっている。お盆は先祖様や、震災で亡くなられた方々との再会の時でもある。多くのご家庭で、お墓掃除やお盆飾りをしてご先祖様をお迎えする、日本人として大切な行事でもある▼このお盆が全国で危機に瀕しているという。お墓の管理が難しくなってきたというのである。子どもが地元を離れている方や子どもがいない方も多くなってきた。今後、人口減少社会が訪れるとこのような問題が今から想定されることでもある。空き家問題も想定される▼いつも山田町の20年後を考えた町政にあたりながら、難問山積である。人口減少に歯止めを掛けるためには、当町の場合一刻も早く復興工事を完成させることが第一と考えている。そのためには、地権者様はじめ広く町民のご理解を賜ればと考えている。

山田町長 佐藤 信逸

口開けに、和船いっばいに満船に積み込み、前須賀にて砂干しあるいは灰干しと、一番苦労だった作業のことがきのうのように思い出されます。

それも生きるための仕事で、希望に生きる地域と共存する先代の方たちからの保存食の知恵でしょう。そのような苦労の甲斐があつて、今では生若布は塩造に、昆布は乾燥にする製法になり仕事も楽になって自分たちの頃には、想像に及ばなかった昔し話になりましたね。ドットワレ。

西館 隆(船越・82)

出会いに ありがとう

大津波が、家だけでなく、人間関係まで壊してしまいました。新しい心に残る出会いも皆さまから頂いておられます。

去る、六月四日まで知人が変わりなく皆さまと楽しく会話しておりましたが、五日に、急死の訃報を聞き、な

んで、どうして、と信じられませんでした。

あまりにも早い彼方への旅立ちに…。母親さんが、町民グラウンドに入居していることを知り、息子さんに、先立たれ、深い悲しみ、辛い日々を過ごしていることをお察し、慰めにと思いまして、区長の太宮様(こみや)に、その旨をお伝えし、心良く了解を頂き、ありがとうございます。

七月十二日、午後一時から「がんばろう」お楽しみ会に賛助出演。友人たちと歌った賛美歌「いつくしみ深き」は、故人にも届いたことでしょう。

夕暮れに、前の山から一匹のひぐらしの声がして、故人が現世を恋しくて鳴いているのかなあ、と夫と話した。

満天の夜空に今夜も星が輝いています。ひとりじゃない、淋しくないから、母親さんたちを見守って下さい。

震災で、同じ痛みをもちながらも老い二人は親身にお世話になりました。

ひぐらしの

ひとり旅する 友思う

合掌

菊地 サカエ(織笠・80)



町民時計撮影会の参加者募集



町民の皆さんの写真をつなぎ合わせて作る「山田町民時計」の写真撮影会を、山田祭りで開催します。撮影された写真は、陸中山田駅前に来春開館予定の「(仮称)山田町子ども交流センター」にて、デジタル時計として公開。さらに参加者には、プロカメラマンによる写真を1枚プレゼント。皆さんの参加をお待ちしています。

- ▷日時 9月20日(日) 午前10時～午後5時
- ※撮影時間は1組5分程度を予定しています。
- ▷撮影場所 当日、お祭り広場(八幡町・山田町C M J V仮設駐車場)に専用ブースを設け撮影予定
- ▷対象 町内に住む子どもと大人
- ▷参加費 無料
- ▷定員 50組程度
- ※定員になり次第締め切ります。
- ▷申込期限 9月11日

◆申込先・問い合わせ (公社)セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン (担当・山田 ☎090-2636-3227 / Eメール clcyamada@savechildren.or.jp) へどうぞ。

イラストコーナー



P.N. 赤蘭 (長崎・14)

皆さんのイラスト
お待ちしております



「ソバの刈り取り」体験しませんか

白石集落農業生産組合(越田 正一郎組合長)では、農業体験の参加者を募集しています。なお、収穫したソバによるそば打ちと試食会を、11月に行う予定です。

- ▷期日 9月23日(水)
- ▷時間 午前9時～正午
- ▷集合場所 織笠白石地区「水車小屋」
- ▷参加料 無料
- ▷申込期限 9月22日

白石集落農業生産組合(越田 ☎080-2247-1790)

